

110523

お申し込み方法

参加費

3,000円
 (全国老人給食協力会会員 2,500円)

お申し込みの際は下記の事項をメール・FAX・電話でお知らせ下さい。追って受付番号をご案内します。参加費は当日受付でお支払下さい。会場準備の都合上、事前の申し込みをお願い致します。

参加申込書

ふりがな 氏名:	受付番号
所属(職場)名:	
会員 / 一般・どちらかに	
自宅 / 所属(職場) 住所:	
自宅 / 所属(職場) 電話 / FAX: メール:	
備考	

(電話 03-5426-2547 / メール info@mow.jp)

全国老人給食協力会 行
 FAX:03-5426-2548

会場のご案内

飯田橋セントラルプラザ12階

(東京都新宿区神楽河岸1-1)

JR総武線・地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線



JR総武線ご利用の場合

飯田橋駅西口を出て右に曲がり、右側前方。

地下鉄ご利用の場合

「B2b」出口よりセントラルプラザ1階に直結。

参加申込・お問い合わせ

全国老人給食協力会

ミールズ・オン・ホイールズ日本協会

URL: <http://www.mow.jp> Mail: info@mow.jp

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘4-13-21

老人給食協力会ふきのとう内

TEL03-5426-2547 FAX03-5426-2548



「食」で支え合おう 確かな「コミュニティ」の活動を今こそ

第十四回
 全国食事サービス活動セミナー

日時 平成23年7月17日(日)

会場 飯田橋セントラルプラザ12階ホール
 (東京都新宿区神楽河岸1-1)

主催 全国老人給食協力会
 (ミールズ・オン・ホイールズ日本協会)

後援 厚生労働省(予) / 東京ボランティア・市民活動センター / 公益財団法人さわやか福祉財団 / 特定非営利活動法人高齢社会をよくする女性の会 / 社会福祉法人ふきのとうの会

開催趣旨

住民参加による在宅福祉サービス活動・食事サービス活動の普及と活動者の技術向上を目的に、第14回全国食事サービス活動セミナーを開催します。

3月11日の東日本大震災の経験は、助け合えるコミュニティの大切さを再認識する機会となりました。そして、地域に炊き出しができる設備・調理器具があること、大量調理の心得がある市民が組織されていることは大きな力になることもわかりました。

今年のセミナーでは、「『食』で支え合おう・確かなコミュニティの活動を今こそ」をサブタイトルに、食事サービスの施策動向、イギリスのボランティアセクター政策、食から始まる地域の多世代の居場所づくり、震災被災地での食事サービスの実践など幅広いテーマを取りあげます。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

全国老人給食協力会とは

市民参画による地域の食支援活動を少子高齢社会に対応できるサービスとして育てていくことを目的に、全国で活動する団体や個人がつくる連絡会組織です。

プログラム

10:00 開会

講義

「介護保険制度の改正と食事サービス施策の動向」

講師：厚生労働省老健局高齢者支援課
課長補佐 家田康典氏

講義

「ボランティアセクターの価値をどう捉えるか - イギリスの政策動向からみえること」

講師：産業能率大学経営学部
准教授 中島智人氏

イギリスでは昨年13年ぶりに政権交代があり、労働党に代わって保守党と自由民主党の連立政権が政権を担うことになりました。行政とNPOとの協働のあり方のモデルとして取り上げられることの多かった労働政権下のボランティア施策が、政権交代でどう変化したかをお話いただきながら、日本におけるあり方を考えます。

～ 休憩 ～



報告

「多世代が交流できる地域の居場所づくり ～タンポポのわたげ「みんなが龍馬塾」(広島市)」

報告者：室本けい子氏

(タンポポのわたげ「みんなが龍馬塾」主宰
NPO法人よもぎのアトリエ代表理事)

谷口祐司氏、他

(「みんなが龍馬塾」コーディネーター
学校法人己斐みどり学園特別支援コーディネーター)

「食は大量生産ではなく地域の人の手と目によって支えられるべき」との信念で配食事業に取り組んできた「よもぎのアトリエ」の室本さんが、今年2月から子供～高齢者が集う、学習塾であり地域の居場所である「みんなが龍馬塾」を主宰しています。ワンコインの個別学習塾・おにぎり等の軽食がつく・様々な人の関わりで本質を学ぶ。この活動をコアメンバーの方々に報告していただきます。

報告

「災害と市民活動においてできること ～食事サービスの実践を通じて」

報告者：武田美江子氏

(NPO法人あかねグループ理事長・仙台市)

真壁さおり氏

(仙台市市民活動サポートセンター)

助言者：山崎美貴子氏

(東京ボランティア・市民活動センター所長
東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話人)

司会：清水洋行氏

(東京学芸大学社会学分野准教授)

大きな災害時に食事サービス団体は何ができるのか。災害時の在宅支援は。仙台「あかねグループ」「仙台市市民活動サポートセンター」の経験と取り組みをお聞きした後、広く支援組織を束ねている山崎美貴子さんに助言をいただきます。

16:00 閉会